

工 芸 科

■ 工芸基礎 ■

【工芸基礎の概要】

陶磁器・漆工・染織の各専門課程へ進むために、必要な素材と技術の概要を習得し3系列の内容を知って、選択の指針とします。(それぞれ4週間程)

【履修の流れ】

○陶磁器

陶磁器においては、成形から本焼成に至るまでの作陶の基本的な工程をひと通り体験し、そのなかで素材の特性や技術と表現との関わりを学んでいきます。

○漆 工

漆工系列では一枚の板から生み出される形態にカシュー漆を塗装し、加飾した作品を仕上げます。この期間に、木工具の使用法・木組みの仕方・塗料の特質・装飾方法等を通して工芸の成り立ちを理解させます。

○染 織

染織では、糸・布・染料などに関して基本的な体験をし、型染や捺染経絣織を制作することで、素材と技法の関連やそれらによる表現について理解します。

また、制作のテーマに添ったスライドを用いて、多様な染織の世界を学びます。

教科 No.	1X05	授業科目	工芸基礎		単位数	週5日 8単位
担当教員	工芸科 教員全員				開講学期	後期
履修条件	総合基礎実技の単位修得者			履修学年・専攻等	1年次	
【授業目標】	陶磁器・漆工・染織それぞれの専門課程の内容を知り、初歩的プロセスを習得するなかで、素材、技術、表現が密接に関連し合うことに特徴づけられる工芸的アプローチへの理解を深めます。また2年次以降の専攻選択の指針とします。					
【授業概要】	各専攻がおおよそ4週間にわたり、それぞれ課題を出します。					
【授業計画】	①漆工 10月1日～11月上旬		③陶磁器 12月中旬～1月31日			
	②染織 11月上旬～12月		(日程の詳細については、後期の始めに発表します)			
【評価方法】	出席、課題への取り組む姿勢、提出作品、合評等から総合的に評価します。 各系列それぞれ合格点(60点以上)が必要です。					
【注 意】	各系列とも、全出席を基本として、それぞれ3分の2以上の出席が必要です。					
【教科書】	必要に応じてプリント等を配布します。					
①漆工	担当教員≪山中晴夫・栗本夏樹・安井友幸・笹井史恵≫					
【授業目標】	与えられた材料と道具で、そのテーマに即したイメージを形として表現します。道具の扱いに慣れ、塗装や装飾の基礎を学びます。					
【授業概要】	一枚の板から生み出される形態にカシュー漆(合成漆塗料-かぶれにくい)を塗装し、加飾した作品を仕上げてもらいます。木工具の使用法、木組みの仕方、成形方法、塗装の特質、加飾方法の理解と作業を通して工芸の成り立ちを理解させます。					
【授業計画】	初めに決められたテーマを与え構想図を描かせます。それに基づいて教員の指導により作業をしてもらいます。作業の単位ごとに講座を開き、詳しい作業内容を説明します。					
	1週目 構想と設計、材料の加工(木工講座)		3週目 塗装(カシュー塗り講座)			
	2週目 材料の成形及び組み立て(成形方法-下地講座)		4週目 加飾(加飾講座)、作品提出			
②染織	担当教員≪内藤英治・ひろいのぶこ・三橋遵・藤野靖子・日下部雅生≫					
【授業目標】	糸、布、染料などの基本的な素材を用いて、初歩的な技法体験をし、染織の入口に立つ。また、スライドや図版などの資料から、多様な染織の世界を学ぶ。					
【授業概要】	染織専攻における初歩的な技法を体験し、今後の専攻選択のガイダンスの実習とする。課題A,Bのうちどちらか1つを選択する。最終日に2課題合同の合評会を行う。 課題A「型染」は、写生から始めて、デザインした型紙を彫り、木綿布に糊防染による染色実習を行う。 課題B「捺染経緋織」は、麻糸を経糸を捺染し、機にかけて織る。					
【授業計画】	課題A			課題B		
	○1週目:「型染」課題説明、写生		○1週目:「捺染経緋織」課題説明、捺染準備			
	○2週目:アイデアスケッチ、原寸大草稿		○2週目:アイデアスケッチ、原寸大草稿			
	○3週目:型彫り⇒糊置き⇒地入れ		○3週目:経糸捺染、機準備			
	○4週目:染色⇒水元⇒合評		○4週目:製織、仕上げ、合評			
③陶磁器	担当教員≪叶道夫・秋山陽・長谷川直人・重松あゆみ・森野彰人≫					
【授業目標】	素材の特性を知り、初歩的技法を体験するなかで、陶磁制作の特質を理解する。					
【授業概要】	「土」の成形・加飾・施釉・焼成のプロセスをたどり実習する。 手びねり・ろくろ・型などの成形実習や、電気窯・薪窯・楽焼きなどさまざまな焼成実習を通して、陶磁器の素材・表現の多様性を体験させる。					
【授業計画】	○1週目:成形の基礎実習。 課題についての構想。		○3週目:課題制作(加飾・仕上げ) スライドレクチャー			
	○2週目:課題制作(成形)		○4週目:素焼き・施釉・本焼き・合評。			

■陶磁器専攻■

【専攻の概要】

豊かで自由な表現の可能性を持つ「やきもの」は、縄文時代より現在に至る長い人類の歴史にわたり、生活の用具として、また表現として、密接に私たちの生活と結びつきつつ、途絶えることなく脈々と作り続けられてきました。しかし、「土」に対するリアリティや、「つくる」「焼く」といった私たちの原点ともいえる行為は、都市化や科学技術の発達の中で急速に私達の身边から失われています。

陶磁器専攻では、陶磁器が果たしてきた様々な社会的役割について幅広く考察、検証をすると共に、こうした身体から遠ざかりつつある行為を、実制作をとおして再び身边に引き寄せ感じることから、私たちの内に眠る原初的な感覚を呼び覚まし、新たな陶磁の表現の可能性の拡張を試みます。

まず2年次において、粘土の調整・成形・加飾・釉薬・焼成などの基礎実習をとおして、陶磁という素材に対する知識と基本的な技術の習得をします。

3年次・4年次は、機能と量産の面からの考察、伝統技法からの展開、自由な思考による新しい表現の試みといった、さまざまな視点から陶磁による表現の本質的な意味を問い、制作・研究を行うことを基本にしています。またそれらを実践的に制作することを通して、陶磁表現の可能性の枠を拡げ、次代の陶磁表現を担う作家としての自覚と自立をめざします。

【履修の流れ】

実技登録の前に専攻オリエンテーションを行い授業内容について詳細に説明します。

2年次 前期に陶磁器基礎A、後期に陶磁器基礎Bを受講します。

3年次 前期に陶磁器1、後期に陶磁器2を受講します。

4年次 陶磁器3を受講します。学生は制作に先立ち、各科目担当教員とのディスカッションを通して、研究テーマ・制作過程などを検討し、具体的な研究計画書を作成したのち、制作を行っていきます。

各年次とも、それぞれの課題ごとや、学期末に合評をおこないます。後期に毎年行われる陶磁器研修旅行にて陶産地・窯業関係工場・美術館等を見学し、陶磁器全般に対する知識と理解を深めます。また、隔年で行う登り窯での焼成実習体験を通し、焼成の原理に対する理解と技能を実践的に深めます。(本年度開講)

2011年度 陶磁器カリキュラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2回生	＜陶磁器基礎 A＞					登り窯 焼成実習	＜陶磁器基礎 B＞				作品展
	土練りろくろ芯出し	第1課題 (ろくろ 汲み出し)	第2課題 (ろくろ 皿)		第1課題 (板づくり)		第2課題 (手びねり)	第3課題 (手びねり大物)			
3回生	＜陶磁器 1＞						＜陶磁器 2＞				
	第1課題 (石膏型 泥漿鑄込み)	第2課題 (大物ろくろ)	上絵付実習	前期展	第1課題 (素材演習)	芸大祭	研修旅行	自主テーマ制作 (進級制作)			
4回生	＜陶磁器 3＞					＜陶磁器 3＞					
	自主テーマ制作	自主テーマ制作	自主テーマ制作	自主テーマ制作	卒業制作	卒業制作	卒業制作	卒業制作	卒業制作	卒業制作	

関連実技	デッサン	城野愛子	2回生必修 毎週月曜日開講 3・4回生も受講可
	釉薬実習	土谷徹	2回生必修 隔週金曜日開講
	特別講義	中島晴美	全学年対象 後期開講
	技法研究	神農巖	3回生必修 前期開講
	焼成実習 (登り窯焼成)	村上愛 黒川徹 全専任教員	全学生対象 後期開始直前実施
	絵付け実習 (シルク転写を含む)	叶道夫 村上愛	3回生必修 前期開講

教科 No.	1101	授業科目	陶磁器基礎 A	単位数	週5日 8単位																
担当教員	叶道夫 秋山陽 長谷川直人 重松あゆみ 森野彰人 ○土谷徹 ○城野愛子 ○村上愛			開講学期	前期																
履修条件	工芸基礎の単位修得者		履修学年・専攻等	陶磁器専攻 2年次																	
<p>【授業目標】 多様な表現を可能にする基礎的な能力を養うため、ロクロ成形の基礎を中心に、装飾・釉薬・焼成などの陶磁制作に必要な基礎技術および知識を総合的に身に付ける。</p> <p>【授業概要】 ロクロ成形により、数種類の器を形状を揃えて、一定以上の数量を制作する課題を設ける。また課題制作の過程で基礎的な装飾・施釉・焼成などに関する指導を行う。各課題ごとに合評を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 土もみ・ロクロ芯出し</td> <td>9. "</td> </tr> <tr> <td>2. ロクロ実習・道具作り</td> <td>10. "</td> </tr> <tr> <td>3. "</td> <td>11. 第2課題(皿)制作 白化粧による加飾</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. 第1課題(汲み出し)制作</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. ロクロ成形の展開 第2・第3課題 焼成</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 作品提出・合評</td> </tr> <tr> <td>8. 呉須・鉄絵付, 第1課題焼成 第2課題(湯呑)制作</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 授業への参加, 制作実績, 合評を通して総合的に評価する。</p> <p>○造形力の基礎を養うためのデッサン・クロッキー等の授業を毎週月曜日に行う。 ○釉調合の技術と知識を実践的に身に付けるため, 釉薬実習の授業を隔週金曜日に行う。</p>						1. 土もみ・ロクロ芯出し	9. "	2. ロクロ実習・道具作り	10. "	3. "	11. 第2課題(皿)制作 白化粧による加飾	4. "	12. "	5. 第1課題(汲み出し)制作	13. "	6. "	14. ロクロ成形の展開 第2・第3課題 焼成	7. "	15. 作品提出・合評	8. 呉須・鉄絵付, 第1課題焼成 第2課題(湯呑)制作	
1. 土もみ・ロクロ芯出し	9. "																				
2. ロクロ実習・道具作り	10. "																				
3. "	11. 第2課題(皿)制作 白化粧による加飾																				
4. "	12. "																				
5. 第1課題(汲み出し)制作	13. "																				
6. "	14. ロクロ成形の展開 第2・第3課題 焼成																				
7. "	15. 作品提出・合評																				
8. 呉須・鉄絵付, 第1課題焼成 第2課題(湯呑)制作																					

教科 No.	1102	授業科目	陶磁器基礎 B	単位数	週5日 8単位																
担当教員	秋山陽 長谷川直人 重松あゆみ 森野彰人 叶道夫 ○土谷徹 ○城野愛子 ○中島晴美 ○村上愛			開講学期	後期																
履修条件	陶磁器基礎 A の単位修得者		履修学年・専攻等	陶磁器専攻 2年次																	
<p>【授業目標】 陶磁器基礎 A に引き続き, 多様な表現を可能にする能力を養うための様々な成型方法と焼成法・装飾法を身に付ける。</p> <p>【授業概要】 手捻り(紐づくり)・板づくりなどによる成形と, 様々な施釉・装飾方法の習得のための課題を設ける。また, 各種焼成に関する指導をおこなう。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 第1課題(紐づくり)導入, 成形</td> <td>9. 第2課題素焼, 施釉</td> </tr> <tr> <td>2. 成形</td> <td>10. 第3課題(紐づくりによる自主テーマ)</td> </tr> <tr> <td>3. 成形</td> <td>11. 第3課題成形, 第2課題の本焼成 合評</td> </tr> <tr> <td>4. 第1課題の加飾</td> <td>12. 第3課題成形</td> </tr> <tr> <td>5. 第1課題素焼, 施釉</td> <td>13. 第3課題成形</td> </tr> <tr> <td>6. 第2課題(たたら成形)導入, 第1課題本焼成 合評</td> <td>14. 第3課題素焼, 施釉</td> </tr> <tr> <td>7. 成形</td> <td>15. 第3課題本焼成 合評</td> </tr> <tr> <td>8. 成形</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 授業への参加, 制作実績, 合評を通して総合的に評価する。</p> <p>○造形力の基礎を養うためのデッサン・クロッキー等の授業を毎週月曜日に行う。 釉調合の技術と知識を実践的に身に付けるため, 釉薬実習の授業を隔週金曜日に行う。 各課題ごとに担当教員により合評を行う。 ○後期期間中に現代陶磁の集中講義を行う。後期開始直前に焼成実習(登り窯)をおこなう。</p>						1. 第1課題(紐づくり)導入, 成形	9. 第2課題素焼, 施釉	2. 成形	10. 第3課題(紐づくりによる自主テーマ)	3. 成形	11. 第3課題成形, 第2課題の本焼成 合評	4. 第1課題の加飾	12. 第3課題成形	5. 第1課題素焼, 施釉	13. 第3課題成形	6. 第2課題(たたら成形)導入, 第1課題本焼成 合評	14. 第3課題素焼, 施釉	7. 成形	15. 第3課題本焼成 合評	8. 成形	
1. 第1課題(紐づくり)導入, 成形	9. 第2課題素焼, 施釉																				
2. 成形	10. 第3課題(紐づくりによる自主テーマ)																				
3. 成形	11. 第3課題成形, 第2課題の本焼成 合評																				
4. 第1課題の加飾	12. 第3課題成形																				
5. 第1課題素焼, 施釉	13. 第3課題成形																				
6. 第2課題(たたら成形)導入, 第1課題本焼成 合評	14. 第3課題素焼, 施釉																				
7. 成形	15. 第3課題本焼成 合評																				
8. 成形																					

教科 No.	1103	授業科目	陶磁器 1	単位数	週4日 6単位																
担当教員	叶道夫 秋山陽 森野彰人 ○神農巖 重松あゆみ 長谷川直人 ○村上愛			開講学期	前期																
履修条件	陶磁器基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	陶磁器専攻 3年次																	
<p>【授業目標】 陶磁器基礎で履修したことに加え、更に基本となる技術を習得し、陶磁器への理解の充実を目指す。</p> <p>【授業概要】 前半は石膏型による鑄込成型法の実習を行う。後半はロクロ成形による大物制作を行う。また上絵付けの実習も行う。随時ミーティングを持つ。各課題ごとに合評を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 第1課題 石膏型による鑄込成型 課題説明に続き、作品計画</td> <td>9. 磁器ロクロ練習</td> </tr> <tr> <td>2. 原型作成</td> <td>10. 磁器ロクロ成形</td> </tr> <tr> <td>3. 石膏型作成</td> <td>11. 磁器ロクロ成形</td> </tr> <tr> <td>4. 鑄込み</td> <td>12. 削り</td> </tr> <tr> <td>5. 素焼き焼成 第2課題 大物ロクロ 課題説明および練習</td> <td>13. 上絵実習</td> </tr> <tr> <td>6. ロクロ練習</td> <td>14. 素焼, 施釉</td> </tr> <tr> <td>7. 磁器大物ロクロ 課題説明および練習</td> <td>15. 本焼成, 合評</td> </tr> <tr> <td>8. 磁器ロクロ練習</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 授業への参加, 制作実績, 合評を通して総合的に評価する。</p>						1. 第1課題 石膏型による鑄込成型 課題説明に続き、作品計画	9. 磁器ロクロ練習	2. 原型作成	10. 磁器ロクロ成形	3. 石膏型作成	11. 磁器ロクロ成形	4. 鑄込み	12. 削り	5. 素焼き焼成 第2課題 大物ロクロ 課題説明および練習	13. 上絵実習	6. ロクロ練習	14. 素焼, 施釉	7. 磁器大物ロクロ 課題説明および練習	15. 本焼成, 合評	8. 磁器ロクロ練習	
1. 第1課題 石膏型による鑄込成型 課題説明に続き、作品計画	9. 磁器ロクロ練習																				
2. 原型作成	10. 磁器ロクロ成形																				
3. 石膏型作成	11. 磁器ロクロ成形																				
4. 鑄込み	12. 削り																				
5. 素焼き焼成 第2課題 大物ロクロ 課題説明および練習	13. 上絵実習																				
6. ロクロ練習	14. 素焼, 施釉																				
7. 磁器大物ロクロ 課題説明および練習	15. 本焼成, 合評																				
8. 磁器ロクロ練習																					

教科 No.	1108	授業科目	陶磁器 2	単位数	週4日 6単位																
担当教員	叶道夫 秋山陽 長谷川直人 重松あゆみ 森野彰人 ○中島晴美 ○村上愛 ※黒川徹			開講学期	後期																
履修条件	陶磁器 1 の単位修得者		履修学年・専攻等	陶磁器専攻 3年次																	
<p>【授業目標】 自由な思考による新しい表現を試み、さまざまな視点から陶磁による表現を考えていくことで、その本質的な意味を探る。</p> <p>【授業概要】 陶磁の素材・技術に関する基本や、そこから派生する理念を対象として、その新しい解釈や批評につながる実験的制作を課題とする授業などを行う。後半は各自の自主的なテーマ設定による制作を課す。随時ミーティングを行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 課題説明, 導入課題</td> <td>9. 自主課題を設定</td> </tr> <tr> <td>2. 導入課題</td> <td>10. 技法などの検討, マケット制作</td> </tr> <tr> <td>3. 実験課題</td> <td>11. 作品展へ向けての制作</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. 自主テーマによる試作</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. "</td> </tr> <tr> <td>7. 実験焼成</td> <td>15. 合評, 研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. 発表及びディスカッション</td> <td></td> </tr> </table> <p>【授業計画その他】 後期期間中に現代陶磁の集中講義をおこなう。 後期開始直前に焼成実習（登り窯）をおこなう。</p> <p>【評価方法】 授業への参加, 制作実績, 合評を通して総合的に評価する。</p>						1. 課題説明, 導入課題	9. 自主課題を設定	2. 導入課題	10. 技法などの検討, マケット制作	3. 実験課題	11. 作品展へ向けての制作	4. "	12. "	5. 自主テーマによる試作	13. "	6. "	14. "	7. 実験焼成	15. 合評, 研究報告書の提出	8. 発表及びディスカッション	
1. 課題説明, 導入課題	9. 自主課題を設定																				
2. 導入課題	10. 技法などの検討, マケット制作																				
3. 実験課題	11. 作品展へ向けての制作																				
4. "	12. "																				
5. 自主テーマによる試作	13. "																				
6. "	14. "																				
7. 実験焼成	15. 合評, 研究報告書の提出																				
8. 発表及びディスカッション																					

教科 No.	1113	授業科目	陶磁器 3	単位数	週4日 6単位																
担当教員	叶道夫 秋山陽 長谷川直人 重松あゆみ 森野彰人 ○神農巖 ○村上愛			開講学期	前期																
履修条件	陶磁器2の単位修得者		履修学年・専攻等	陶磁器専攻 4年次																	
【授業目標】 これまでに学んだ基礎的な技術，知識，思考をもとに自らの課題やテーマを見つけ，それをもとに作品を生み出していく総合的な力を養う。																					
【授業概要】 陶磁器基礎から陶磁器1および2をとおして学んだことをふまえ，自主的に各自テーマを設定し制作を行っていくことを課題とする。各学生の制作内容に応じてそれぞれ2名の教員が指導・サポートにあたる。随時ミーティングを行う。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. 自主課題の設定と計画の検討</td> <td>9. 合評・課題検討</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書を作成</td> <td>10. 前期展へ向けての制作</td> </tr> <tr> <td>3. 技法研究・素材実験</td> <td>11. "</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. 試作</td> <td>14. "</td> </tr> <tr> <td>7. "</td> <td>15. 合評，研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. "</td> <td></td> </tr> </table>						1. 自主課題の設定と計画の検討	9. 合評・課題検討	2. 研究計画書を作成	10. 前期展へ向けての制作	3. 技法研究・素材実験	11. "	4. "	12. "	5. "	13. "	6. 試作	14. "	7. "	15. 合評，研究報告書の提出	8. "	
1. 自主課題の設定と計画の検討	9. 合評・課題検討																				
2. 研究計画書を作成	10. 前期展へ向けての制作																				
3. 技法研究・素材実験	11. "																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. 試作	14. "																				
7. "	15. 合評，研究報告書の提出																				
8. "																					
【評価方法】 授業への参加，制作実績，合評を通して総合的に評価する。																					

教科 No.	1114	授業科目	陶磁器 3	単位数	週4日 6単位																
担当教員	叶道夫 秋山陽 長谷川直人 重松あゆみ 森野彰人 ○中島晴美 ○村上愛			開講学期	後期																
履修条件	陶磁器2の単位修得者		履修学年・専攻等	陶磁器専攻 4年次																	
【授業目標】 今まで学んだ基礎的な技術，知識，思考をもとに自らの課題やテーマを見つけ，それをもとに作品を生み出していく総合的な力を養う。																					
【授業概要】 陶磁器基礎から陶磁器1,2を通して学んだことをふまえ，自由かつ自主的に各自テーマを設定し制作を行っていくことを課題とする。各学生の制作内容に応じてそれぞれ2名の教員が指導・サポートにあたる。随時ミーティングを行う。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. 自主課題の設定と計画の検討</td> <td>9. "</td> </tr> <tr> <td>2. 研究計画書を作成</td> <td>10. 合評</td> </tr> <tr> <td>3. 技法研究・素材実験</td> <td>11. 作品展へ向けての制作</td> </tr> <tr> <td>4. "</td> <td>12. "</td> </tr> <tr> <td>5. "</td> <td>13. "</td> </tr> <tr> <td>6. "</td> <td>14. "</td> </tr> <tr> <td>7. 試作</td> <td>15. 合評，研究報告書の提出</td> </tr> <tr> <td>8. "</td> <td></td> </tr> </table>						1. 自主課題の設定と計画の検討	9. "	2. 研究計画書を作成	10. 合評	3. 技法研究・素材実験	11. 作品展へ向けての制作	4. "	12. "	5. "	13. "	6. "	14. "	7. 試作	15. 合評，研究報告書の提出	8. "	
1. 自主課題の設定と計画の検討	9. "																				
2. 研究計画書を作成	10. 合評																				
3. 技法研究・素材実験	11. 作品展へ向けての制作																				
4. "	12. "																				
5. "	13. "																				
6. "	14. "																				
7. 試作	15. 合評，研究報告書の提出																				
8. "																					
【授業計画その他】 後期期間中に現代陶磁の集中講義をおこなう。 後期開始直前に焼成実習（登り窯）をおこなう。																					
【評価方法】 授業への参加，制作実績，合評を通して総合的に評価する。																					

■ 漆工専攻 ■

【専攻の概要】

漆芸における漆・木・その他の素材，諸技法の基礎実習と髹漆，漆加飾，乾漆，木などの各分野における制作と研究を行います。その授業科目と実習内容は以下のとおりです。

【履修の流れ】

(2 年次)

漆工基礎 A B 漆芸の用具，漆の性質，木工具・機械等の使用法，漆工全般の基礎実習と制作を行います。曜日毎にデッサン，木地（製図・簡単な家具），髹漆（器物及び変わり塗り），加飾（パネルに漆技法で装飾），乾漆（立体造形）の学習を重ねそれぞれの技法の要点を習得します。

(3 ・ 4 年次)

漆 工 1

髹 漆 髹漆では，漆塗りを基本とした作品作りを通して，必要な技術力，専門知識を身につけます。独自の表現の獲得を目指し，様々な視点から自身の制作テーマをみつけ，作品制作を行っていく思考力を養います。

加 飾 加飾では，漆絵，蒔絵，螺鈿等の加飾の伝統技法を学ぶための実習を行います。又，独自の表現を目指しての技法研究や素材研究，テーマ研究をそれぞれの受講者の方向性に応じて行い，時代に対応する発想や表現を養成します。

漆 工 2

乾 漆 乾漆では，乾漆とそれに準ずる技法で，特に用途性にこだわらず，素材としての漆を用いた造形的な表現方法を目指します。他素材との複合実験など漆芸の可能性と展開を探究し，作品と展示空間をも意識した制作を行います。

木 工 木工では，主として木材の持つ物理的な性質や表情からいかに独創的な作品を作り出すことが出来るかをねらいとして指導を行います。作品は機能性，心象表現の有無を問いませんが，年間に 2 点以上制作させます。併せて，科学的な知識の習得や文化の変遷を学ばせ，制作の現代的な意味を考察させます。作品提出時には，かならず，合評による討議と評価を行います。

関連実技

素材実験	○松山 淳・○市川陽子
造形実習	○佐々木友恵・○染谷 聡・○佐野 暁
デッサン	○城野愛子
木材工作研究	※公庄 直樹 (非常勤嘱託)

教科 No.	1J01	授業科目	漆工基礎 A	単位数	8単位																
担当教員	山中晴夫・栗本夏樹・安井友幸・笹井史恵・○城野愛子			開講学期	前期																
履修条件	工芸基礎の単位修得者		履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 髹漆・加飾・木工・乾漆の基礎的な技法を学ぶと共に作業工程を理解する。又、木工機械の操作方法を習得する。</p> <p>【授業概要】 素地・塗り・加飾・立体造形・デッサン等の漆芸制作のための素材の把握と基礎技法を学習する。曜日ごとに月デッサン、火加飾、水木工、木髹漆、金乾漆の実習を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 各課題ガイダンス ※ () 内は各実習の主な内容</td> <td>9. 作品制作 (漆下地つけ, 布着せなど)</td> </tr> <tr> <td>2. 必要に応じて見学等実施</td> <td>10. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>3. 各課題について資料収集及び作品プランニング。(加飾パネル素地制作, 木工ろくろ実習)</td> <td>11. 作品制作 (加飾パネル塗り)</td> </tr> <tr> <td>4. 作品プランニングをもとに, 制作計画をたてる (乾漆樹脂実習, 木工ろくろ木地 うつわのデザイン・制作)</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. それぞれ原型や素地作成 (髹漆粘土原型による石膏型, 木工テーブルウェアのデザイン)</td> <td>13. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>6. それぞれ原型や素地作成 (乾漆発泡スチロール原型, 木工テーブルウェアの木地制作)</td> <td>14. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>7. それぞれ原型や素地作成</td> <td>15. それぞれの課題の進行目標まで到達。後期にむけての制作計画</td> </tr> <tr> <td>8. それぞれ原型や素地作成</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 各課題に対するの習熟度と出席率を含め総合的に評価する</p> <p>【履修上の注意】 課題提出の時間厳守。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由と共に担当教員まで必ず連絡する事。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>【参考書等】</p> <p>※備考 デッサンについては担当の教員の指示に従うこと。</p>						1. 各課題ガイダンス ※ () 内は各実習の主な内容	9. 作品制作 (漆下地つけ, 布着せなど)	2. 必要に応じて見学等実施	10. 作品制作	3. 各課題について資料収集及び作品プランニング。(加飾パネル素地制作, 木工ろくろ実習)	11. 作品制作 (加飾パネル塗り)	4. 作品プランニングをもとに, 制作計画をたてる (乾漆樹脂実習, 木工ろくろ木地 うつわのデザイン・制作)	12. 作品制作	5. それぞれ原型や素地作成 (髹漆粘土原型による石膏型, 木工テーブルウェアのデザイン)	13. 作品制作	6. それぞれ原型や素地作成 (乾漆発泡スチロール原型, 木工テーブルウェアの木地制作)	14. 作品制作	7. それぞれ原型や素地作成	15. それぞれの課題の進行目標まで到達。後期にむけての制作計画	8. それぞれ原型や素地作成	
1. 各課題ガイダンス ※ () 内は各実習の主な内容	9. 作品制作 (漆下地つけ, 布着せなど)																				
2. 必要に応じて見学等実施	10. 作品制作																				
3. 各課題について資料収集及び作品プランニング。(加飾パネル素地制作, 木工ろくろ実習)	11. 作品制作 (加飾パネル塗り)																				
4. 作品プランニングをもとに, 制作計画をたてる (乾漆樹脂実習, 木工ろくろ木地 うつわのデザイン・制作)	12. 作品制作																				
5. それぞれ原型や素地作成 (髹漆粘土原型による石膏型, 木工テーブルウェアのデザイン)	13. 作品制作																				
6. それぞれ原型や素地作成 (乾漆発泡スチロール原型, 木工テーブルウェアの木地制作)	14. 作品制作																				
7. それぞれ原型や素地作成	15. それぞれの課題の進行目標まで到達。後期にむけての制作計画																				
8. それぞれ原型や素地作成																					

教科 No.	1J02	授業科目	漆工基礎 B	単位数	8単位																
担当教員	山中晴夫・栗本夏樹・安井友幸・笹井史恵・○城野愛子			開講学期	後期																
履修条件	漆工基礎 A の単位修得者		履修学年・専攻等	2年次																	
<p>【授業目標】 髹漆・加飾・木工・乾漆の基礎的な技法を学ぶと共に作業工程を理解する。又、木工機械の操作方法を習得する。</p> <p>【授業概要】 素地・塗り・加飾・立体造形・デッサン等の漆芸制作のための素材の把握と基礎技法を学習する。曜日ごとに月デッサン、火加飾、水木工、木髹漆、金乾漆の実習を行う。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 教員と後期の制作計画をたてる ※ () 内は各実習の主な内容</td> <td>9. 作品制作 (加飾上塗り, 髹漆上塗り)</td> </tr> <tr> <td>2. 素地整形・塗り (加飾上塗り, 髹漆手板実習, 木工デザインの決定)</td> <td>10. 作品制作 (加飾研ぎ出し)</td> </tr> <tr> <td>3. 素地整形・塗り (木工木取り, 乾漆中塗り)</td> <td>11. 作品仕上 (つや上げ等)</td> </tr> <tr> <td>4. 作品制作 (加飾貝・卵殻等貼り, 髹漆中塗り)</td> <td>12. 作品仕上</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作 (髹漆脱型)</td> <td>13. 作品展の準備 (木工ディスプレイのデザイン)</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作 (加飾蒔絵, 髹漆整形)</td> <td>14. 作品展への出品</td> </tr> <tr> <td>7. 作品制作</td> <td>15. 合評</td> </tr> <tr> <td>8. 作品制作 (乾漆上塗り)</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 各課題に対するの習熟度と出席率を含め総合的に評価する</p> <p>【履修上の注意】 課題提出の時間厳守。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由と共に担当教員まで必ず連絡する事。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>【参考書等】</p> <p>※備考 デッサンについては担当の教員の指示に従うこと。</p>						1. 教員と後期の制作計画をたてる ※ () 内は各実習の主な内容	9. 作品制作 (加飾上塗り, 髹漆上塗り)	2. 素地整形・塗り (加飾上塗り, 髹漆手板実習, 木工デザインの決定)	10. 作品制作 (加飾研ぎ出し)	3. 素地整形・塗り (木工木取り, 乾漆中塗り)	11. 作品仕上 (つや上げ等)	4. 作品制作 (加飾貝・卵殻等貼り, 髹漆中塗り)	12. 作品仕上	5. 作品制作 (髹漆脱型)	13. 作品展の準備 (木工ディスプレイのデザイン)	6. 作品制作 (加飾蒔絵, 髹漆整形)	14. 作品展への出品	7. 作品制作	15. 合評	8. 作品制作 (乾漆上塗り)	
1. 教員と後期の制作計画をたてる ※ () 内は各実習の主な内容	9. 作品制作 (加飾上塗り, 髹漆上塗り)																				
2. 素地整形・塗り (加飾上塗り, 髹漆手板実習, 木工デザインの決定)	10. 作品制作 (加飾研ぎ出し)																				
3. 素地整形・塗り (木工木取り, 乾漆中塗り)	11. 作品仕上 (つや上げ等)																				
4. 作品制作 (加飾貝・卵殻等貼り, 髹漆中塗り)	12. 作品仕上																				
5. 作品制作 (髹漆脱型)	13. 作品展の準備 (木工ディスプレイのデザイン)																				
6. 作品制作 (加飾蒔絵, 髹漆整形)	14. 作品展への出品																				
7. 作品制作	15. 合評																				
8. 作品制作 (乾漆上塗り)																					

教科 No.	1J03	授業科目	漆工 1 (髹漆)	単位数	週4日 6単位																
担当教員	笹井史恵			開講学期	前期																
履修条件	漆工基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3 年次以上																	
<p>【授業目標】 漆塗りを基本とした作品作りを通して、必要な技術力、専門知識を身につける。独自の表現の獲得を目指し、様々な視点から自身の制作テーマをみつけ、作品制作を行っていく思考力を養う。</p> <p>【授業概要】 伝統的な漆塗りの技法や素材、専門知識についての見学、実習を行う。担当教員とのディスカッション、個別面談を通して、制作意図や進行状況の理解を深める。自主課題の前期展への出展を必須とする。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 前期の研究計画書の作成</td> <td>9. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>2. 計画書の提出。それを基にして、担当教員と個別面談。個々の学生に対応した授業計画を立てる</td> <td>10. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集、作品プランニング</td> <td>11. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>4. 作品プランニングをもとに、担当教員とディスカッション</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. 素材研究、マケットの作成</td> <td>13. 仕上げ、前期展への出品</td> </tr> <tr> <td>6. 原型、素地作成</td> <td>14. 合評</td> </tr> <tr> <td>7. 原型、素地作成</td> <td>15. 担当教員との個別面談（前期の総括、後期にむけての制作計画）</td> </tr> <tr> <td>8. 作品制作</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 当初決めた目標、計画が達成出来たか、又、日常の制作態度はどうであったか等、合評、面談を通して評価する。</p> <p>【履修上の注意】 漆工 1 (髹漆)・漆工 1 (加飾) を同時に履修することは出来ない。履修登録時には漆工 1 (髹漆) と記入すること。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。</p>						1. 前期の研究計画書の作成	9. 作品制作	2. 計画書の提出。それを基にして、担当教員と個別面談。個々の学生に対応した授業計画を立てる	10. 作品制作	3. 資料収集、作品プランニング	11. 作品制作	4. 作品プランニングをもとに、担当教員とディスカッション	12. 作品制作	5. 素材研究、マケットの作成	13. 仕上げ、前期展への出品	6. 原型、素地作成	14. 合評	7. 原型、素地作成	15. 担当教員との個別面談（前期の総括、後期にむけての制作計画）	8. 作品制作	
1. 前期の研究計画書の作成	9. 作品制作																				
2. 計画書の提出。それを基にして、担当教員と個別面談。個々の学生に対応した授業計画を立てる	10. 作品制作																				
3. 資料収集、作品プランニング	11. 作品制作																				
4. 作品プランニングをもとに、担当教員とディスカッション	12. 作品制作																				
5. 素材研究、マケットの作成	13. 仕上げ、前期展への出品																				
6. 原型、素地作成	14. 合評																				
7. 原型、素地作成	15. 担当教員との個別面談（前期の総括、後期にむけての制作計画）																				
8. 作品制作																					

教科 No.	1J04	授業科目	漆工 1 (加飾)	単位数	週4日 6単位																
担当教員	栗本夏樹			開講学期	前期																
履修条件	漆工基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3 年次以上																	
<p>【授業目標】 学習者は漆絵・蒔絵・螺鈿等の加飾の伝統技法を学ぶと共に、独自の表現を目指しての技法研究や素材研究を行い、幅広い表現力の獲得を目指します。又、漆という素材を用いて何を表現したいのか、自分自身の制作テーマの掘り下げを行います。</p> <p>【授業概要】 加飾では、漆絵・蒔絵・螺鈿等の加飾の伝統技法を学ぶための実習を行います。又、独自の表現を目指しての技法研究や素材研究、テーマ研究をそれぞれの受講者の方向性に応じて行い、時代に対応する発想や表現を養成します。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 制作プランの作成</td> <td>9. 制作 (漆塗り)</td> </tr> <tr> <td>2. 制作プランの作成</td> <td>10. 制作 (漆塗り)</td> </tr> <tr> <td>3. 制作プランの内容についてディスカッション</td> <td>11. 漆塗り段階での助言や指導 (担当教員による)</td> </tr> <tr> <td>4. 制作プランの決定</td> <td>12. 制作 (加飾)</td> </tr> <tr> <td>5. 制作に必要な材料の調達</td> <td>13. 制作 (加飾)</td> </tr> <tr> <td>6. 制作 (素地制作)</td> <td>14. 制作 (加飾)</td> </tr> <tr> <td>7. 制作 (素地制作)</td> <td>15. 完成、前期展への出品、合評、評価</td> </tr> <tr> <td>8. 素地段階での助言や指導 (担当教員による)</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品は、時代に対応する発想や独自の表現を持っているかをポイントとして評価する。又、技法研究や素材研究の成果や作品の完成度も合わせて評価する。授業の出席日数や授業に対する取り組み姿勢も評価の対象とする。</p> <p>【履修上の注意】 漆工 1 (髹漆)・漆工 1 (加飾) を同時に履修することは出来ない。履修登録時には漆工 1 (加飾) と記入すること。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。</p>						1. 制作プランの作成	9. 制作 (漆塗り)	2. 制作プランの作成	10. 制作 (漆塗り)	3. 制作プランの内容についてディスカッション	11. 漆塗り段階での助言や指導 (担当教員による)	4. 制作プランの決定	12. 制作 (加飾)	5. 制作に必要な材料の調達	13. 制作 (加飾)	6. 制作 (素地制作)	14. 制作 (加飾)	7. 制作 (素地制作)	15. 完成、前期展への出品、合評、評価	8. 素地段階での助言や指導 (担当教員による)	
1. 制作プランの作成	9. 制作 (漆塗り)																				
2. 制作プランの作成	10. 制作 (漆塗り)																				
3. 制作プランの内容についてディスカッション	11. 漆塗り段階での助言や指導 (担当教員による)																				
4. 制作プランの決定	12. 制作 (加飾)																				
5. 制作に必要な材料の調達	13. 制作 (加飾)																				
6. 制作 (素地制作)	14. 制作 (加飾)																				
7. 制作 (素地制作)	15. 完成、前期展への出品、合評、評価																				
8. 素地段階での助言や指導 (担当教員による)																					

教科 No.	1J05	授業科目	漆工 1 (髹漆)	単位数	週4日 6単位																
担当教員	笹井史恵			開講学期	後期																
履修条件	漆工基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3 年次以上																	
<p>【授業目標】 漆塗りを基本とした作品作りを通して、必要な技術力、専門知識を身につける。独自の表現の獲得を目指し、様々な視点から自身の制作テーマをみつけ、作品制作を行っていく思考力を養う。</p> <p>【授業概要】 伝統的な漆塗りの技法や素材、専門知識についての見学、実習を行う。担当教員とのディスカッション、個別面談を通して、作品の制作意図や進行状況の理解を深める。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 後期の研究計画書の作成</td> <td>9. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>2. 計画書の提出。それを基にして、担当教員と個別面談。個々の学生に対応した授業計画を立てる</td> <td>10. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集、作品プランニング</td> <td>11. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>4. 作品プランニングをもとに、担当教員とディスカッション</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. 素材研究、マケットの作成</td> <td>13. 仕上げ、作品展への出品</td> </tr> <tr> <td>6. 原型、素地作成</td> <td>14. 合評</td> </tr> <tr> <td>7. 原型、素地作成</td> <td>15. 担当教員との個別面談（1年の総括等）</td> </tr> <tr> <td>8. 作品制作</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 当初決めた目標、計画が達成出来たか、又、日常の制作態度はどうであったか等、合評、面談を通して評価する。</p> <p>【履修上の注意】 漆工 1 (髹漆)・漆工 1 (加飾) を同時に履修することは出来ない。履修登録時には漆工 1 (髹漆) と記入すること。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。</p>						1. 後期の研究計画書の作成	9. 作品制作	2. 計画書の提出。それを基にして、担当教員と個別面談。個々の学生に対応した授業計画を立てる	10. 作品制作	3. 資料収集、作品プランニング	11. 作品制作	4. 作品プランニングをもとに、担当教員とディスカッション	12. 作品制作	5. 素材研究、マケットの作成	13. 仕上げ、作品展への出品	6. 原型、素地作成	14. 合評	7. 原型、素地作成	15. 担当教員との個別面談（1年の総括等）	8. 作品制作	
1. 後期の研究計画書の作成	9. 作品制作																				
2. 計画書の提出。それを基にして、担当教員と個別面談。個々の学生に対応した授業計画を立てる	10. 作品制作																				
3. 資料収集、作品プランニング	11. 作品制作																				
4. 作品プランニングをもとに、担当教員とディスカッション	12. 作品制作																				
5. 素材研究、マケットの作成	13. 仕上げ、作品展への出品																				
6. 原型、素地作成	14. 合評																				
7. 原型、素地作成	15. 担当教員との個別面談（1年の総括等）																				
8. 作品制作																					

教科 No.	1J06	授業科目	漆工 1 (加飾)	単位数	週4日 6単位																
担当教員	栗本夏樹			開講学期	後期																
履修条件	漆工基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3 年次以上																	
<p>【授業目標】 学習者は漆絵・蒔絵・螺鈿等の加飾の伝統技法を学ぶと共に、独自の表現を目指しての技法研究や素材研究を行い、幅広い表現力の獲得を目指します。又、漆という素材を用いて何を表現したいのか、自分自身の制作テーマの掘り下げを行います。</p> <p>【授業概要】 加飾では、漆絵・蒔絵・螺鈿等の加飾の伝統技法を学ぶための実習を行います。又、独自の表現を目指しての技法研究や素材研究、テーマ研究をそれぞれの受講者の方向性に応じて行い、時代に対応する発想や表現を養成します。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 制作プランの作成</td> <td>9. 制作 (漆塗り)</td> </tr> <tr> <td>2. 制作プランの作成</td> <td>10. 制作 (漆塗り)</td> </tr> <tr> <td>3. 制作プランの内容についてディスカッション</td> <td>11. 漆塗り段階での助言や指導 (担当教員による)</td> </tr> <tr> <td>4. 制作プランの決定</td> <td>12. 制作 (加飾)</td> </tr> <tr> <td>5. 制作に必要な材料の調達</td> <td>13. 制作 (加飾)</td> </tr> <tr> <td>6. 制作 (素地制作)</td> <td>14. 制作 (加飾)</td> </tr> <tr> <td>7. 制作 (素地制作)</td> <td>15. 完成、前期展への出品、合評、評価</td> </tr> <tr> <td>8. 素地段階での助言や指導 (担当教員による)</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 提出作品は、時代に対応する発想や独自の表現を持っているかをポイントとして評価する。又、技法研究や素材研究の成果や作品の完成度も合わせて評価する。授業の出席日数や授業に対する取り組み姿勢も評価の対象とする。</p> <p>【履修上の注意】 漆工 1 (髹漆)・漆工 1 (加飾) を同時に履修することは出来ない。履修登録時には漆工 1 (加飾) と記入すること。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。</p>						1. 制作プランの作成	9. 制作 (漆塗り)	2. 制作プランの作成	10. 制作 (漆塗り)	3. 制作プランの内容についてディスカッション	11. 漆塗り段階での助言や指導 (担当教員による)	4. 制作プランの決定	12. 制作 (加飾)	5. 制作に必要な材料の調達	13. 制作 (加飾)	6. 制作 (素地制作)	14. 制作 (加飾)	7. 制作 (素地制作)	15. 完成、前期展への出品、合評、評価	8. 素地段階での助言や指導 (担当教員による)	
1. 制作プランの作成	9. 制作 (漆塗り)																				
2. 制作プランの作成	10. 制作 (漆塗り)																				
3. 制作プランの内容についてディスカッション	11. 漆塗り段階での助言や指導 (担当教員による)																				
4. 制作プランの決定	12. 制作 (加飾)																				
5. 制作に必要な材料の調達	13. 制作 (加飾)																				
6. 制作 (素地制作)	14. 制作 (加飾)																				
7. 制作 (素地制作)	15. 完成、前期展への出品、合評、評価																				
8. 素地段階での助言や指導 (担当教員による)																					

教科 No.	1J07	授業科目	漆工 2 (乾漆)	単位数	週4日 6単位																
担当教員	安井友幸			開講学期	前期																
履修条件	漆工基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3 年次以上																	
<p>【授業目標】 主に乾漆技法やその他の漆芸技法の習熟及び、漆芸の創造的な可能性と展開を探究し、作品空間をも意識した制作を行います。半期に最低 1 点以上の創造的な作品を完成します</p> <p>【授業概要】 特に用途性にこだわらず、素材として漆を用いた造形的な表現方法を基本とし、素材実験や他素材との複合実験制作を行わせ、インスタレーション等の作品空間をも意識した作品展開を指導します。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成及び提出</td> <td>9. 制作途中での再検討</td> </tr> <tr> <td>2. 担当教員と研究計画書の内容についてディスカッション</td> <td>10. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>3. 必要に応じて見学等実施</td> <td>11. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>4. 素地研究やマケットの作成</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. 素地研究やマケットの作成</td> <td>13. 展覧会準備</td> </tr> <tr> <td>6. 原型・素地作成</td> <td>14. 前期展出品</td> </tr> <tr> <td>7. 原型・素地作成</td> <td>15. 合評及び総括 後期へ向けての計画</td> </tr> <tr> <td>8. 原型・素地作成</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 個々人の制作に対する姿勢、計画性、漆芸のあらたなる展開の探究、空間を意識した制作などに重点を置き、学年による習熟度を考慮して評価を行う。</p> <p>【履修上の注意】 漆工 2 (乾漆)・漆工 2 (木工) を同時に履修することは出来ない。履修登録時には漆工 2 (乾漆) と記入すること。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。</p>						1. 研究計画書の作成及び提出	9. 制作途中での再検討	2. 担当教員と研究計画書の内容についてディスカッション	10. 作品制作	3. 必要に応じて見学等実施	11. 作品制作	4. 素地研究やマケットの作成	12. 作品制作	5. 素地研究やマケットの作成	13. 展覧会準備	6. 原型・素地作成	14. 前期展出品	7. 原型・素地作成	15. 合評及び総括 後期へ向けての計画	8. 原型・素地作成	
1. 研究計画書の作成及び提出	9. 制作途中での再検討																				
2. 担当教員と研究計画書の内容についてディスカッション	10. 作品制作																				
3. 必要に応じて見学等実施	11. 作品制作																				
4. 素地研究やマケットの作成	12. 作品制作																				
5. 素地研究やマケットの作成	13. 展覧会準備																				
6. 原型・素地作成	14. 前期展出品																				
7. 原型・素地作成	15. 合評及び総括 後期へ向けての計画																				
8. 原型・素地作成																					

教科 No.	1J08	授業科目	漆工 2 (木工)	単位数	週4日 6単位																
担当教員	山中晴夫			開講学期	前期																
履修条件	漆工基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3 年次以上																	
<p>【授業目標】 木の特性を生かした作品作りを通して、感性、技術の修得を目指し、又、木の可能性、新しい展開、社会での役割等について考えながら制作する。半年に 1～2 点程度の作品を完成する。</p> <p>【授業概要】 伝統的な技術の習得を通して木の性質を学びながら木の特性を引き出す表現を目指す。仕上げ方法、他素材の体験を通してより木を生かし現代空間を意識した作品制作になるよう指導します。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成</td> <td>9. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>2. 計画書の提出、個々に応じて授業計画をたてる。</td> <td>10. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集、作品プランニング、アイデアスケッチ</td> <td>11. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>4. プランニングをもとに、担当教員とディスカッション</td> <td>12. 仕上げ</td> </tr> <tr> <td>5. 素材研究、図面制作、マケットの作成</td> <td>13. ディスプレイの検討 (デザイン)、前期展への出品</td> </tr> <tr> <td>6. 木地作成 (木取り)</td> <td>14. 合評</td> </tr> <tr> <td>7. 作品制作</td> <td>15. 担当教員との個別面談</td> </tr> <tr> <td>8. 作品制作</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 素材に対する取り組み方、作品の独自性、社会性等総合的に評価する。制作態度、出席日数等も考慮する。</p> <p>【履修上の注意】 漆工 2 (乾漆)・漆工 2 (木工) を同時に履修することは出来ない。履修登録時には漆工 2 (木工) と記入すること。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。木工関係のビデオなどを鑑賞。</p> <p>【参考書等】</p> <p>※備考 画廊・工房等の見学</p>						1. 研究計画書の作成	9. 作品制作	2. 計画書の提出、個々に応じて授業計画をたてる。	10. 作品制作	3. 資料収集、作品プランニング、アイデアスケッチ	11. 作品制作	4. プランニングをもとに、担当教員とディスカッション	12. 仕上げ	5. 素材研究、図面制作、マケットの作成	13. ディスプレイの検討 (デザイン)、前期展への出品	6. 木地作成 (木取り)	14. 合評	7. 作品制作	15. 担当教員との個別面談	8. 作品制作	
1. 研究計画書の作成	9. 作品制作																				
2. 計画書の提出、個々に応じて授業計画をたてる。	10. 作品制作																				
3. 資料収集、作品プランニング、アイデアスケッチ	11. 作品制作																				
4. プランニングをもとに、担当教員とディスカッション	12. 仕上げ																				
5. 素材研究、図面制作、マケットの作成	13. ディスプレイの検討 (デザイン)、前期展への出品																				
6. 木地作成 (木取り)	14. 合評																				
7. 作品制作	15. 担当教員との個別面談																				
8. 作品制作																					

教科 No.	1J09	授業科目	漆工 2 (乾漆)	単位数	週4日 6単位																
担当教員	安井友幸			開講学期	後期																
履修条件	漆工基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3 年次以上																	
<p>【授業目標】 主に乾漆技法やその他の漆芸技法の習熟及び、漆芸の創造的な可能性と展開を探究し、作品空間をも意識した制作を行います。半期に最低 1 点以上の創造的な作品を完成します。</p> <p>【授業概要】 特に用途性にこだわらず、素材として漆を用いた造形的な表現方法を基本とし、素材実験や他素材との複合実験制作を行わせ、インスタレーション等の作品空間をも意識した作品展開を指導します。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成及び提出</td> <td>9. 制作途中での再検討</td> </tr> <tr> <td>2. 担当教員と前期の反省をふまえ研究計画書の内容についてディスカッション</td> <td>10. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>3. 必要に応じて見学等実施</td> <td>11. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>4. 素地研究やマケットの作成</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. 素地研究やマケットの作成</td> <td>13. 展覧会準備</td> </tr> <tr> <td>6. 原型・素地作成</td> <td>14. 作品展出品</td> </tr> <tr> <td>7. 原型・素地作成</td> <td>15. 合評及び総括 3 回生は次年度へ向けての計画</td> </tr> <tr> <td>8. 原型・素地作成</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 個々人の制作に対する姿勢、計画性、漆芸のあらたなる展開の探究、空間を意識した制作などに重点を置き、学年による習熟度を考慮して評価を行う。</p> <p>【履修上の注意】 漆工 2 (乾漆)・漆工 2 (木工) を同時に履修することは出来ない。履修登録時には漆工 2 (乾漆) と記入すること。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。</p>						1. 研究計画書の作成及び提出	9. 制作途中での再検討	2. 担当教員と前期の反省をふまえ研究計画書の内容についてディスカッション	10. 作品制作	3. 必要に応じて見学等実施	11. 作品制作	4. 素地研究やマケットの作成	12. 作品制作	5. 素地研究やマケットの作成	13. 展覧会準備	6. 原型・素地作成	14. 作品展出品	7. 原型・素地作成	15. 合評及び総括 3 回生は次年度へ向けての計画	8. 原型・素地作成	
1. 研究計画書の作成及び提出	9. 制作途中での再検討																				
2. 担当教員と前期の反省をふまえ研究計画書の内容についてディスカッション	10. 作品制作																				
3. 必要に応じて見学等実施	11. 作品制作																				
4. 素地研究やマケットの作成	12. 作品制作																				
5. 素地研究やマケットの作成	13. 展覧会準備																				
6. 原型・素地作成	14. 作品展出品																				
7. 原型・素地作成	15. 合評及び総括 3 回生は次年度へ向けての計画																				
8. 原型・素地作成																					

教科 No.	1J10	授業科目	漆工 2 (木工)	単位数	週4日 6単位																
担当教員	山中晴夫			開講学期	後期																
履修条件	漆工基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3 年次以上																	
<p>【授業目標】 木の特性を生かした作品作りを通して、感性、技術の修得を目指し、又、木の可能性、新しい展開、社会での役割等について考えながら制作する。半年に 1～2 点程度の作品を完成する。</p> <p>【授業概要】 伝統的な技術の習得を通して木の性質を学びながら木の特性を引き出す表現を目指す。仕上げ方法、他素材の体験を通してより木を生かし現代空間を意識した作品制作になるよう指導します。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 研究計画書の作成</td> <td>9. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>2. 計画書の提出。前期の反省をふまえ、個々に応じて授業計画をたてる。</td> <td>10. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>3. 資料収集、作品プランニング、アイデアスケッチ</td> <td>11. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>4. プランニングをもとに、担当教員とディスカッション</td> <td>12. 仕上げ</td> </tr> <tr> <td>5. 素材研究、図面制作、マケットの作成</td> <td>13. ディスプレイの検討 (デザイン)、前期展への出品</td> </tr> <tr> <td>6. 木地作成 (木取り)</td> <td>14. 合評</td> </tr> <tr> <td>7. 作品制作</td> <td>15. 担当教員との個別面談</td> </tr> <tr> <td>8. 作品制作</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 素材に対する取り組み方、作品の独自性、社会性等総合的に評価する。制作態度、出席日数等も考慮する。</p> <p>【履修上の注意】 漆工 2 (乾漆)・漆工 2 (木工) を同時に履修することは出来ない。履修登録時には漆工 2 (木工) と記入すること。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。木工関係のビデオなどを鑑賞。</p>						1. 研究計画書の作成	9. 作品制作	2. 計画書の提出。前期の反省をふまえ、個々に応じて授業計画をたてる。	10. 作品制作	3. 資料収集、作品プランニング、アイデアスケッチ	11. 作品制作	4. プランニングをもとに、担当教員とディスカッション	12. 仕上げ	5. 素材研究、図面制作、マケットの作成	13. ディスプレイの検討 (デザイン)、前期展への出品	6. 木地作成 (木取り)	14. 合評	7. 作品制作	15. 担当教員との個別面談	8. 作品制作	
1. 研究計画書の作成	9. 作品制作																				
2. 計画書の提出。前期の反省をふまえ、個々に応じて授業計画をたてる。	10. 作品制作																				
3. 資料収集、作品プランニング、アイデアスケッチ	11. 作品制作																				
4. プランニングをもとに、担当教員とディスカッション	12. 仕上げ																				
5. 素材研究、図面制作、マケットの作成	13. ディスプレイの検討 (デザイン)、前期展への出品																				
6. 木地作成 (木取り)	14. 合評																				
7. 作品制作	15. 担当教員との個別面談																				
8. 作品制作																					

■染織専攻■

【専攻の概要】

染織は人間のいとなみとともに、長い歴史を持っています。染織専攻では、糸や布などの繊維素材と合成染料、天然染料を使いつつ、様々な染色技法や織技法など、染織独自の表現の研究を行い、作品制作を通して自己の表現を試みます。こうした染織特有の表現から、新たな美の発見と創造につながると考えています。

【履修の流れ】

(2年次) 染織基礎A, B

工芸基礎を経て染織を選択した学生は、前期・染め(染織基礎A)と後期・織り(染織基礎B)の基礎的な技法を一年間通して習得します。それと同時に毛筆画やデッサンなども行います。

(3年次・4年次) 染織1・2・3

染織基礎を習得した学生は、次に染織1・染織2・染織3のいずれかを選択し、制作します。またファッションやインテリアに関連した企業、染織工房の見学や講義なども行い、専門での学習の深化を図ります。

染織1

染織1は、染めの技法を主たる表現手段とします。具体的には、主に型染とろう染を中心に制作を行い、その技法上の制約を生かしつつ作品化していくプロセスの難しさ面白さの中から、染色としての新たな表現の可能性を追求していきます。

3年次では、着物(ゆかた)を染め、衣装表現や文様知識を習得します。主に平面に図案を展開する取り組みを試みます。

4年次では、これらをふまえて学生が各自テーマを設定し、制作意図を明確にしなが自由制作し、創造力を高めます。

染織2

染織2は織物を主たる表現手段としています。多様な技法と素材への理解を深め、新たな表現の可能性を追求します。

3年次では着物を織り、日本の伝統的な染織文化の一端に触れます。4年次ではこれらをもとに、各自がテーマを設定して、制作を行います。制作意図を明確にし、独自の新鮮な表現を追求します。

染織3

染織3は素材・イメージ・空間といったキーワードを手がかりに、実験的制作を通して、今日的な染織表現の多様性を探ります。多様な技法と素材への理解を深め、新たな表現の可能性を追求します。

3年次では「着ること」の原点から考察し、布と糸の世界への知識と経験を広げ、創作へ進めます。また、絞り・捺染や、糸作り・織り・組みを含めた多様な技法に触れます。

4年次ではこれらをもとに、各自がテーマを設定して、制作を進展させます。制作意図を明確にし、独自の新鮮な表現を追求します。

【専攻指定科目】

■必修科目：工芸概説(2単位) 染織工芸史1(2単位) 染織工芸史2(2単位)

■履修することが望ましい科目：日本美術史演習1 日本美術史演習2 デザイン史概説

※備考 平成21年度入学生より、必修科目に次の2科目が追加されます。

色染学(2単位) 染織工芸材料学(2単位)

2011年度 染織カリキュラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2 回生	全体ミーティング 4/12	染織基礎 A 第1課題 着物の基礎講座	染織基礎 A 第2課題 染織1：浴衣を染める 提出 7/14	染織基礎 A 第3課題 染織2：着物を織る 提出 7/15 染織3：きるものをつくる 提出 7/10	大掃除・全体ミーティング 7/15	オープンキャンパス 8/7 (重友準備 8/5 全学準備 8/6)		第4課題 第1課題 提出 10/18 アトセンテーション①	染織基礎 B 第5課題 第2課題 芸大祭 後期展 11/15 第1課題 提出 11/20 合評 11/15 アトセンテーション② 12/6	全体ミーティング 1/10	各課題・卒業制作提出・合評 作品展準備期間 1/31 ~ 2/5 作品展 搬入・搬出・後片付け
3 回生											
4 回生	全体ミーティング 4/12	前期展Ⅰ 5/24 合評 5/24 第1課題 提出 5/29	アトセンテーション① 4/19	前期展Ⅱ 7/12 合評 7/12 第2課題 提出 7/17			全体ミーティング 10/3	第1課題 提出 10/25 アトセンテーション③	大掃除・全体ミーティング 12/28		
関連実技 金曜日を中心に開講する		描写	描写 描くことで形態の発見と展開を試みる。人体を主に対象とする。 鉛筆だけでなく、様々な画材を使用し、描写を行う。	描写 描くことで形態の発見と展開を試みる。人体を主に対象とする。 鉛筆だけでなく、様々な画材を使用し、描写を行う。				○ 藤野靖子	2 回生必修 前期毎週金曜日開講 3・4 回生も受講可。		
		毛筆画	毛筆で描くことで、運筆を通して形態の発見と展開を試みる。 自然物の卓上モチーフを主に対象物とする。	毛筆で描くことで、運筆を通して形態の発見と展開を試みる。 自然物の卓上モチーフを主に対象物とする。				○ 内藤英治	2 回生必修 後期毎週金曜日開講 3・4 回生も受講可。		
		ポर्टフォリオ制作実習	個々の研究成果のファイリングを学ぶ。	個々の研究成果のファイリングを学ぶ。				○ 藤井良子	3 回生自由選択。 ただし受講可能人数をこえた場合、抽選を行う事がある。 開講日時は調節後順次通知する。		

教科 No.	1K01	授業科目	染織基礎 A	単位数	週5日 8単位
担当教員	内藤英治 ひろいのぶこ 三橋遵 藤野靖子 日下部雅生			開講学期	前期
履修条件	工芸基礎の単位修得者		履修学年・専攻等	2年次	
【授業目標】					
染織の基本的な技法を学ぶ中で、染織表現と制作プロセス、もの作りの姿勢を理解する。糸、布、染料などの染織独自の素材から出発し、スケッチや写生から制作することを通して表現の手がかりを得る。					
【授業概要】					
染色技法の基礎として、第1課題では「型染」の技法を通じた表現の基本、第2課題では織技法を中心とした実習で、綴織、織物組織と設計演習を行う。第3課題では「布と糸」を用いた複数の技法の実習を行う。同時に人体などの描写を行う。					
【授業内容】					
1. 授業ガイダンス 第1課題「型染」課題説明 写生					
2. 型紙の基礎演習 写生 アイデアスケッチ 原寸大草稿作成					
3. 型彫り・染色作業					
4. 染色作業					
5. 仕上げ 合評					
6. 第2課題 「織」課題説明 アイデアスケッチ 織準備					
7. 織物設計 原寸大草稿 プレゼンテーション					
8. 製織作業					
9. 製織作業					
10. 仕上げ 合評					
11. 第3課題「布と糸」課題説明・アイデアスケッチ					
12. 編む、組む実習					
13. 縫う、刺す実習					
14. 作品制作					
15. 仕上げ 合評					
【評価方法】					
制作への取り組み姿勢・技法工程の理解度・提出作品・合評等を重視して、総合的に評価する。					
【履修上の注意】					
課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに必ず課題担当教員まで連絡すること。					
【教科書】					
書籍としての教科書は使用しないが、適宜プリント等の配布を行う。					
【参考書等】					
統一したものの指定は行わないが、参考になる書籍は授業において紹介する。					

教科 No.	1K02	授業科目	染織基礎 B	単位数	週5日 8単位
担当教員	内藤英治 ひろいのぶこ 三橋遵 藤野靖子 日下部雅生			開講学期	後期
履修条件	染織基礎 A の単位修得者		履修学年・専攻等	2年次	
【授業目標】					
染織の基本的な技法を学び、作業工程を理解する。糸、布、染料といった染織独自の素材から出発し、技法との関わりのなかで表現の手がかりを得る。					
【授業概要】					
第4課題は「天然染料」の染色実験と「藍染」の技法を通じた表現の基本を習得する。第5課題では「ろう染」の技法を通じた表現の基本を学ぶ。第6課題は各学生がこれまでの課題で身につけた技法を使い、それぞれがテーマを設定して作品制作に取り組む。同時に毛筆画なども行う。					
【授業内容】					
1. 第4課題「天然染料と藍染」課題説明 「天然染料」染色実験					
2. 染色実験 ファイル作成 「藍染」課題説明					
3. アイデアスケッチ 原寸大草稿					
4. 染色作業					
5. 仕上げ 合評					
6. 第5課題「ろう染」課題説明					
7. アイデアスケッチ 原寸大草稿作成					
8. 染色作業					
9. 染色作業					
10. 仕上げ 合評					
11. 表現技法選択・制作スケジュール作成					
12. プレゼンテーション・制作準備					
13. 作品制作					
14. 作品制作					
15. 作品完成・合評					
【評価方法】					
制作への取り組み方、技法工程の理解度、提出作品、合評を重視して、総合的に評価する。					
【履修上の注意】					
課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに必ず課題担当教員まで連絡すること。					
【教科書】					
書籍としての教科書は使用しないが、適宜プリント等の配布を行う。					
【参考書等】					
統一したものの指定は行わないが、参考になる書籍は授業において紹介する。					

教科 No.	1K03	授業科目	染織 1	単位数	週4日 6単位
担当教員	内藤英治 三橋遵 日下部雅生 ○兼先恵子 ○阿部 緑			開講学期	前期
履修条件	染織基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3年次	
【授業目標】 染織表現の中で、主に平面に図案を展開する取り組みを行う。課題への取り組みを通して、高度な技法の習得と深い思索の展開につとめ、自己の表現の可能性を探り、作家やデザイナーなど幅広く活躍できる能力を身につける。					
【授業概要】 前期は型染又はろう染による着物（浴衣）の制作を中心課題とし、3回生全員による「きるもの展（学内展）」への出品を必須とする。また平行して、さらなる技法・表現の研究を深める課題制作、写生や学外見学等を行う。 前期を通してディスカッションを重ね、また必要により随時全体ミーティング・個別面談を行い、相互の意志と進行状況の確認をする。					
【授業内容】					
1. 前期第1課題「着物（浴衣）を染める」導入・着物の基礎講義					
2. 写生、着物実物大型紙作成					
3. 写生、草稿					
4. 写生、小下絵制作（複数）					
5. 技法選択・手順確認					
6. 写生、小下絵完成					
7. 原寸大草稿					
8. 原寸大草稿					
9. 下絵写し					
10. 染色作業					
11. 染色作業					
12. 仕上げ					
13. 仕立て					
14. 自作の浴衣を着用し、祇園祭の屏風祭を見学					
15. きるもの展（前期第1課題「着物（浴衣）を染める」作品提出） 合評					
【評価方法】 制作への取り組み姿勢・技法工程の理解度・提出作品・合評等を重視して、総合的に評価する。					
【履修上の注意】 課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに必ず課題担当教員まで連絡すること。 制作研究は制作室で行い、スケッチ等で学外に出る場合も必ず課題担当教員まで連絡すること。					
【教科書】 書籍としての教科書は使用しないが、適宜プリント等の配布を行う。					
【参考書等】 統一したものの指定は行わないが、参考になる書籍は授業において紹介する。					

教科 No.	1K04	授業科目	染織 1	単位数	週4日 6単位
担当教員	内藤英治 三橋遵 日下部雅生 ○阿部緑 ○増田晴香			開講学期	後期
履修条件	染織基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3年次	
【授業目標】 染織表現の中で、主に平面に図案を展開する取り組みを行う。課題への取り組みを通して、さらに高度な技法の習得と深い思索の展開につとめ、自己の表現の可能性を探り、作家やデザイナーなど幅広く活躍できる能力を身につける。					
【授業概要】 後期はこれまで学んだことを基本にしながら、各自がテーマを設定する自由制作とし、後期展（3・4回生合同学内展）を行う。3回生の締めくくりとして作品展を行う。後期を通してディスカッションを重ね、また必要により随時全体ミーティング・個別面談を行い、相互の意志と進行状況の確認をする。					
【授業内容】					
1. 後期第1課題「自由制作①」 アイデアスケッチ サンプル作成					
2. 草稿 プレゼンテーション①					
3. 草稿					
4. 原寸大草稿					
5. 作品制作					
6. 作品制作					
7. 仕上げ 後期第1課題「自由制作①」作品提出 後期展・合評					
8. 後期第2課題「自由制作②」 導入 アイデアスケッチ					
9. 草稿 プレゼンテーション②					
10. サンプル作成 草稿					
11. 原寸大草稿					
12. 作品制作					
13. 作品制作					
14. 仕上げ					
15. 後期第2課題「自由制作②」作品提出 合評 作品展準備					
【評価方法】 制作への取り組み姿勢・技法工程の理解度・提出作品・合評等を重視して、総合的に評価する。					
【履修上の注意】 課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに必ず課題担当教員まで連絡すること。 制作研究は制作室で行い、スケッチ等で学外に出る場合も必ず課題担当教員まで連絡すること。					
【教科書】 書籍としての教科書は使用しないが、適宜プリント等の配布を行う。					
【参考書等】 統一したものの指定は行わないが、参考になる書籍は授業において紹介する。					

教科 No.	1K05	授業科目	染織 1	単位数	週4日 6単位																
担当教員	内藤英治 三橋遵 日下部雅生 ○兼先恵子 ○阿部 緑			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	4年次																	
【授業目標】 今まで習得してきた様々な技法、素材に関する知識、制作に関わる思考をもとに、それらの応用と、自己表現としての「染織」の可能性を追求する。																					
【授業概要】 前期は各自自由にテーマを設定し、技法と表現の研究をさらに深める。2作の自由制作としそれぞれに4回生前期展Ⅰ・Ⅱ（学内展）を行う。 各時期に設定されたプレゼンテーションのほか、前期を通してディスカッションを重ね、また必要により全体随時ミーティングを行い、相互の意思と進行状況を確認する。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. 前期第1課題「自由制作③」 導入 アイデアスケッチ</td> <td>9. 前期第2課題「自由制作④」 導入 アイデアスケッチ</td> </tr> <tr> <td>2. 草稿</td> <td>10. 草稿 サンプル作成</td> </tr> <tr> <td>3. 草稿サンプル作成</td> <td>11. プレゼンテーション② 原寸大草稿</td> </tr> <tr> <td>4. プレゼンテーション① 原寸大草稿</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作</td> <td>13. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作</td> <td>14. 仕上げ 前期第2課題「自由制作④」 提出</td> </tr> <tr> <td>7. 前期第1課題「自由制作③」 提出</td> <td>15. 4回生前期展Ⅱ・合評</td> </tr> <tr> <td>8. 4回生前期展Ⅰ・合評</td> <td></td> </tr> </table>						1. 前期第1課題「自由制作③」 導入 アイデアスケッチ	9. 前期第2課題「自由制作④」 導入 アイデアスケッチ	2. 草稿	10. 草稿 サンプル作成	3. 草稿サンプル作成	11. プレゼンテーション② 原寸大草稿	4. プレゼンテーション① 原寸大草稿	12. 作品制作	5. 作品制作	13. 作品制作	6. 作品制作	14. 仕上げ 前期第2課題「自由制作④」 提出	7. 前期第1課題「自由制作③」 提出	15. 4回生前期展Ⅱ・合評	8. 4回生前期展Ⅰ・合評	
1. 前期第1課題「自由制作③」 導入 アイデアスケッチ	9. 前期第2課題「自由制作④」 導入 アイデアスケッチ																				
2. 草稿	10. 草稿 サンプル作成																				
3. 草稿サンプル作成	11. プレゼンテーション② 原寸大草稿																				
4. プレゼンテーション① 原寸大草稿	12. 作品制作																				
5. 作品制作	13. 作品制作																				
6. 作品制作	14. 仕上げ 前期第2課題「自由制作④」 提出																				
7. 前期第1課題「自由制作③」 提出	15. 4回生前期展Ⅱ・合評																				
8. 4回生前期展Ⅰ・合評																					
【評価方法】 制作への取り組み姿勢・技法工程の理解度・提出作品・合評等を重視して、総合的に評価する。																					
【履修上の注意】 課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに必ず課題担当教員まで連絡すること。 制作研究は制作室で行い、スケッチ等で学外に出る場合も必ず課題担当教員まで連絡すること。																					
【教科書】 書籍としての教科書は使用しないが、適宜プリント等の配布を行う。																					
【参考書等】 統一したものの指定は行わないが、参考になる書籍は授業において紹介する。																					

教科 No.	1K06	授業科目	染織 1	単位数	週4日 6単位																
担当教員	内藤英治 三橋遵 日下部雅生 ○阿部 緑 ○増田晴香			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	4年次																	
【授業目標】 今まで習得してきた様々な技法、素材に関する知識、制作に関わる思考をもとに、それらの応用と、自己表現としての「染織」の可能性を追求する。																					
【授業概要】 後期は、引き続き自らのテーマに添った制作実習とし、後期展（3・4回生合同学内展）を行う。締めくくりとして卒業制作を行う。 各時期に設定されたプレゼンテーションのほか、後期を通してディスカッションを重ね、また必要により全体随時ミーティングを行い、相互の意思と進行状況を確認する。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. 後期第1課題「自由制作⑤」 サンプル作成</td> <td>9. サンプル作成 草稿 プレゼンテーション④</td> </tr> <tr> <td>2. 草稿 プレゼンテーション③</td> <td>10. 草稿</td> </tr> <tr> <td>3. 草稿</td> <td>11. 原寸大草稿</td> </tr> <tr> <td>4. 原寸大草稿</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作</td> <td>13. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作</td> <td>14. 仕上げ</td> </tr> <tr> <td>7. 仕上げ 後期第1課題「自由制作⑤」 提出 後期展・合評</td> <td>15. 後期第2課題「卒業制作」 作品提出 合評 作品展準備</td> </tr> <tr> <td>8. 後期第2課題「卒業制作」 導入 アイデアスケッチ</td> <td></td> </tr> </table>						1. 後期第1課題「自由制作⑤」 サンプル作成	9. サンプル作成 草稿 プレゼンテーション④	2. 草稿 プレゼンテーション③	10. 草稿	3. 草稿	11. 原寸大草稿	4. 原寸大草稿	12. 作品制作	5. 作品制作	13. 作品制作	6. 作品制作	14. 仕上げ	7. 仕上げ 後期第1課題「自由制作⑤」 提出 後期展・合評	15. 後期第2課題「卒業制作」 作品提出 合評 作品展準備	8. 後期第2課題「卒業制作」 導入 アイデアスケッチ	
1. 後期第1課題「自由制作⑤」 サンプル作成	9. サンプル作成 草稿 プレゼンテーション④																				
2. 草稿 プレゼンテーション③	10. 草稿																				
3. 草稿	11. 原寸大草稿																				
4. 原寸大草稿	12. 作品制作																				
5. 作品制作	13. 作品制作																				
6. 作品制作	14. 仕上げ																				
7. 仕上げ 後期第1課題「自由制作⑤」 提出 後期展・合評	15. 後期第2課題「卒業制作」 作品提出 合評 作品展準備																				
8. 後期第2課題「卒業制作」 導入 アイデアスケッチ																					
【評価方法】 制作への取り組み姿勢・技法工程の理解度・提出作品・合評等を重視して、総合的に評価する。																					
【履修上の注意】 課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに必ず課題担当教員まで連絡すること。 制作研究は制作室で行い、スケッチ等で学外に出る場合も必ず課題担当教員まで連絡すること。																					
【教科書】 書籍としての教科書は使用しないが、適宜プリント等の配布を行う。																					
【参考書等】 統一したものの指定は行わないが、参考になる書籍は授業において紹介する。																					

教科 No.	1K07	授業科目	染織 2	単位数	週4日 6単位																
担当教員	藤野靖子 ○葛西郁子 ○川村成			開講学期	前期																
履修条件	染織基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3年次																	
【授業目標】 作品制作を通して、織に必要な技術力、構想力を身につける。																					
【授業概要】 前期第1課題「布を織る」では、各自がデザインした地紋を織物設計し、60口の紋紙ジャカード機を用いて一枚の布を織る。第2課題「着物を織る」では、拵織、すくい織の技法を用いて着物を織り、3回生全員による学内展を行う。着物の制作を通して、基本的な織の技法やプロセス、糸素材の特性や染色方法、織物設計や機道具の構造や扱い方を理解する。必要に応じて、織について理解を深めるための講義、演習、見学を行う。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. 前期第1課題「布を織る」</td> <td>9. 綜こう 箆通し</td> </tr> <tr> <td>2. 基礎デザイン実習 織物設計書作成</td> <td>10. 緯糸準備</td> </tr> <tr> <td>3. 整経 紋紙掘り</td> <td>11. 緯糸準備 織り出し</td> </tr> <tr> <td>4. 整織</td> <td>12. 作品製織</td> </tr> <tr> <td>5. 前期第2課題「着物を織る」導入 着物の基礎講座</td> <td>13. 作品製織</td> </tr> <tr> <td>6. 拵技法説明 アイデアスケッチ 織物設計 計画作成</td> <td>14. 仕上げ 仕立て</td> </tr> <tr> <td>7. 草稿 糸染め 整経</td> <td>15. きるもの展（前期第1課題「着物を織る」作品提出）合評</td> </tr> <tr> <td>8. 経糸巻き 機準備</td> <td></td> </tr> </table>						1. 前期第1課題「布を織る」	9. 綜こう 箆通し	2. 基礎デザイン実習 織物設計書作成	10. 緯糸準備	3. 整経 紋紙掘り	11. 緯糸準備 織り出し	4. 整織	12. 作品製織	5. 前期第2課題「着物を織る」導入 着物の基礎講座	13. 作品製織	6. 拵技法説明 アイデアスケッチ 織物設計 計画作成	14. 仕上げ 仕立て	7. 草稿 糸染め 整経	15. きるもの展（前期第1課題「着物を織る」作品提出）合評	8. 経糸巻き 機準備	
1. 前期第1課題「布を織る」	9. 綜こう 箆通し																				
2. 基礎デザイン実習 織物設計書作成	10. 緯糸準備																				
3. 整経 紋紙掘り	11. 緯糸準備 織り出し																				
4. 整織	12. 作品製織																				
5. 前期第2課題「着物を織る」導入 着物の基礎講座	13. 作品製織																				
6. 拵技法説明 アイデアスケッチ 織物設計 計画作成	14. 仕上げ 仕立て																				
7. 草稿 糸染め 整経	15. きるもの展（前期第1課題「着物を織る」作品提出）合評																				
8. 経糸巻き 機準備																					
【評価方法】 制作への取り組み方、技法工程の理解度、提出作品、合評を重視して、総合的に評価する。																					
【履修上の注意】 課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに課題担当教員まで必ず連絡すること。制作研究は、出来る限り制作室で行うこと。																					
【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。																					

教科 No.	1K08	授業科目	染織 2	単位数	週4日 6単位																
担当教員	藤野靖子 ○葛西郁子 ○川村成 ○藤井良子			開講学期	後期																
履修条件	染織基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3年次																	
【授業目標】 作品制作を通して、織に必要な技術力、構想力を身につける。習得した技法、思考をもとに、自己の表現の可能性を探る。																					
【授業概要】 後期は各自テーマを設定し、自由制作をする。2つの自由制作課題の間に、京都産業技術研究所において、コンピューターウィービング実習を行う。また、必要に応じて、織について理解を深めるための講義、演習、見学を行う。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. 後期第3課題「自由制作①」アイデアスケッチ 草稿</td> <td>9. アイデアスケッチ 草稿 プレゼンテーション②</td> </tr> <tr> <td>2. サンプル作成 草稿 プレゼンテーション①</td> <td>10. サンプル作成 草稿</td> </tr> <tr> <td>3. 原寸大草稿</td> <td>11. 原寸大草稿</td> </tr> <tr> <td>4. 作品制作</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作</td> <td>13. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作</td> <td>14. 仕上げ</td> </tr> <tr> <td>7. 仕上げ 後期展 後期第1課題「自由制作①」作品提出 合評</td> <td>15. 後期第2課題「自由制作②」作品提出 合評 作品展準備</td> </tr> <tr> <td>8. 後期第2課題「自由制作②」導入</td> <td></td> </tr> </table>						1. 後期第3課題「自由制作①」アイデアスケッチ 草稿	9. アイデアスケッチ 草稿 プレゼンテーション②	2. サンプル作成 草稿 プレゼンテーション①	10. サンプル作成 草稿	3. 原寸大草稿	11. 原寸大草稿	4. 作品制作	12. 作品制作	5. 作品制作	13. 作品制作	6. 作品制作	14. 仕上げ	7. 仕上げ 後期展 後期第1課題「自由制作①」作品提出 合評	15. 後期第2課題「自由制作②」作品提出 合評 作品展準備	8. 後期第2課題「自由制作②」導入	
1. 後期第3課題「自由制作①」アイデアスケッチ 草稿	9. アイデアスケッチ 草稿 プレゼンテーション②																				
2. サンプル作成 草稿 プレゼンテーション①	10. サンプル作成 草稿																				
3. 原寸大草稿	11. 原寸大草稿																				
4. 作品制作	12. 作品制作																				
5. 作品制作	13. 作品制作																				
6. 作品制作	14. 仕上げ																				
7. 仕上げ 後期展 後期第1課題「自由制作①」作品提出 合評	15. 後期第2課題「自由制作②」作品提出 合評 作品展準備																				
8. 後期第2課題「自由制作②」導入																					
【評価方法】 制作への取り組み方、技法工程の理解度、提出作品、合評を重視して、総合的に評価する。																					
【履修上の注意】 課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに課題担当教員まで必ず連絡すること。																					
【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。																					

教科 No.	1K09	授業科目	染織 2	単位数	週4日 6単位																
担当教員	藤野靖子 ○葛西郁子 ○川村成			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	4年次																	
【授業目標】 3年次に学んだことを踏まえてさらに高度な技術や知識の習得に努めるとともに、織の可能性を追求し、独自の表現力を身につける。																					
【授業概要】 前期は、自由制作2課題とし、4回生展（学内展又は学外展）に各自が2点出品する。自由制作を通して織物表現の可能性を探る。また、制作に必要な課題を設け、自己の織物との関わりを深める。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. 前期第1課題説明「自由制作③」 導入 アイデアスケッチ</td> <td>9. 第2課題説明「自由制作④」 課題説明 アイデアスケッチ 草稿</td> </tr> <tr> <td>2. 草稿 試し織り サンプル作成</td> <td>10. 試し織り サンプル作成 原寸大草稿</td> </tr> <tr> <td>3. 原寸大草稿</td> <td>11. プレゼンテーション②</td> </tr> <tr> <td>4. プレゼンテーション①</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作</td> <td>13. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作</td> <td>14. 仕上げ</td> </tr> <tr> <td>7. 仕上げ</td> <td>15. 4回生前期展Ⅱ 前期第2課題「自由制作④」提出 合評</td> </tr> <tr> <td>8. 4回生前期展Ⅰ（前期第1課題「自由制作③」提出）合評</td> <td></td> </tr> </table>						1. 前期第1課題説明「自由制作③」 導入 アイデアスケッチ	9. 第2課題説明「自由制作④」 課題説明 アイデアスケッチ 草稿	2. 草稿 試し織り サンプル作成	10. 試し織り サンプル作成 原寸大草稿	3. 原寸大草稿	11. プレゼンテーション②	4. プレゼンテーション①	12. 作品制作	5. 作品制作	13. 作品制作	6. 作品制作	14. 仕上げ	7. 仕上げ	15. 4回生前期展Ⅱ 前期第2課題「自由制作④」提出 合評	8. 4回生前期展Ⅰ（前期第1課題「自由制作③」提出）合評	
1. 前期第1課題説明「自由制作③」 導入 アイデアスケッチ	9. 第2課題説明「自由制作④」 課題説明 アイデアスケッチ 草稿																				
2. 草稿 試し織り サンプル作成	10. 試し織り サンプル作成 原寸大草稿																				
3. 原寸大草稿	11. プレゼンテーション②																				
4. プレゼンテーション①	12. 作品制作																				
5. 作品制作	13. 作品制作																				
6. 作品制作	14. 仕上げ																				
7. 仕上げ	15. 4回生前期展Ⅱ 前期第2課題「自由制作④」提出 合評																				
8. 4回生前期展Ⅰ（前期第1課題「自由制作③」提出）合評																					
【評価方法】 制作への取り組み方、技法工程の理解度、提出作品、合評を重視して、総合的に評価する。																					
【履修上の注意】 課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに課題担当教員まで必ず連絡すること。制作研究は、出来る限り制作室で行うこと。																					
【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。																					

教科 No.	1K10	授業科目	染織 2	単位数	週4日 6単位																
担当教員	藤野靖子 ○葛西郁子			開講学期	後期																
履修条件	染織基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	4年次																	
【授業目標】 3年次に学んだことを踏まえてさらに高度な技術や知識の習得に努めるとともに、織の可能性を追求し、独自の表現力を身につける。																					
【授業概要】 後期は後期展（3・4回生合同学内展）に向けた自由制作と、作品展に出品する卒業制作の2課題とする。各自が設定したテーマを自己の作品制作へと結実させる。 また、学外組織と連携した実習を通して、社会との関わりを通して染織についての理解を深める。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1. 後期第1課題「自由制作⑤」 サンプル作成</td> <td>9. サンプル作成 草稿 プレゼンテーション④</td> </tr> <tr> <td>2. 草稿 プレゼンテーション③</td> <td>10. 草稿</td> </tr> <tr> <td>3. 原寸大草稿</td> <td>11. 原寸大草稿</td> </tr> <tr> <td>4. 作品制作</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作</td> <td>13. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作</td> <td>14. 仕上げ</td> </tr> <tr> <td>7. 仕上げ 後期展 後期第1課題「自由制作⑤」提出 合評</td> <td>15. 後期第2課題「卒業制作」 作品提出 合評 作品展準備</td> </tr> <tr> <td>8. 後期第2課題「卒業制作」 導入 アイデアスケッチ</td> <td></td> </tr> </table>						1. 後期第1課題「自由制作⑤」 サンプル作成	9. サンプル作成 草稿 プレゼンテーション④	2. 草稿 プレゼンテーション③	10. 草稿	3. 原寸大草稿	11. 原寸大草稿	4. 作品制作	12. 作品制作	5. 作品制作	13. 作品制作	6. 作品制作	14. 仕上げ	7. 仕上げ 後期展 後期第1課題「自由制作⑤」提出 合評	15. 後期第2課題「卒業制作」 作品提出 合評 作品展準備	8. 後期第2課題「卒業制作」 導入 アイデアスケッチ	
1. 後期第1課題「自由制作⑤」 サンプル作成	9. サンプル作成 草稿 プレゼンテーション④																				
2. 草稿 プレゼンテーション③	10. 草稿																				
3. 原寸大草稿	11. 原寸大草稿																				
4. 作品制作	12. 作品制作																				
5. 作品制作	13. 作品制作																				
6. 作品制作	14. 仕上げ																				
7. 仕上げ 後期展 後期第1課題「自由制作⑤」提出 合評	15. 後期第2課題「卒業制作」 作品提出 合評 作品展準備																				
8. 後期第2課題「卒業制作」 導入 アイデアスケッチ																					
【評価方法】 制作への取り組み方、技法工程の理解度、提出作品、合評を重視して、総合的に評価する。																					
【履修上の注意】 課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに課題担当教員まで必ず連絡すること。制作研究は、出来る限り制作室で行うこと。																					
【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。																					

教科 No.	1K11	授業科目	染織 3	単位数	週4日 6単位																
担当教員	ひろいのぶこ 三橋遵 ○藤井良子 ○金沢香恵			開講学期	前期																
履修条件	染織基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3年次																	
<p>【授業目標】 素材・イメージ・空間というキーワードを手がかりに、実験的製作を試みながら、今日的な染織表現の可能性を探る。</p> <p>【授業概要】 「きるもの」を出発点として、柔軟な思考方法を身につけ、発想の展開と新しい染織表現をめざす。 素材としての布制作演習と「衣服研究」を含む。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 前期第1課題A「包む布」導入・資料収集</td> <td>9. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>2. アイデアスケッチ・サンプル作り</td> <td>10. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>3. サンプル作り・プレゼンテーション</td> <td>11. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>4. 作品制作</td> <td>12. 作品制作・合評</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作</td> <td>13. 前期第3課題「衣服研究」導入・資料収集</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作・合評</td> <td>14. アイデアスケッチ・サンプル作り</td> </tr> <tr> <td>7. 前期第2課題「きるものを作る」導入・資料収集</td> <td>15. 作品制作・合評</td> </tr> <tr> <td>8. アイデアスケッチ・サンプル作り</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 制作への取り組み方、提出作品、合評を重視して、総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに課題担当教員まで必ず連絡すること。制作研究は、出来る限り制作室で行うこと。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>※備考 平織りで「長い布」を織る。</p>						1. 前期第1課題A「包む布」導入・資料収集	9. 作品制作	2. アイデアスケッチ・サンプル作り	10. 作品制作	3. サンプル作り・プレゼンテーション	11. 作品制作	4. 作品制作	12. 作品制作・合評	5. 作品制作	13. 前期第3課題「衣服研究」導入・資料収集	6. 作品制作・合評	14. アイデアスケッチ・サンプル作り	7. 前期第2課題「きるものを作る」導入・資料収集	15. 作品制作・合評	8. アイデアスケッチ・サンプル作り	
1. 前期第1課題A「包む布」導入・資料収集	9. 作品制作																				
2. アイデアスケッチ・サンプル作り	10. 作品制作																				
3. サンプル作り・プレゼンテーション	11. 作品制作																				
4. 作品制作	12. 作品制作・合評																				
5. 作品制作	13. 前期第3課題「衣服研究」導入・資料収集																				
6. 作品制作・合評	14. アイデアスケッチ・サンプル作り																				
7. 前期第2課題「きるものを作る」導入・資料収集	15. 作品制作・合評																				
8. アイデアスケッチ・サンプル作り																					

教科 No.	1K12	授業科目	染織 3	単位数	週4日 6単位																
担当教員	ひろいのぶこ 三橋遵 ○藤井良子 ○金沢香恵			開講学期	後期																
履修条件	染織基礎 B の単位修得者		履修学年・専攻等	3年次																	
<p>【授業目標】 素材・イメージ・空間というキーワードを手がかりに、実験的製作を試みながら、今日的な染織表現の多様性を探る。</p> <p>【授業概要】 繊維素材が持つテクスチャーに注目し、柔軟で多様な思考から、発想の展開と新しい染織表現をめざす。「衣服研究」演習を含む。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 後期第1課題「10メートルの布」導入、資料収集</td> <td>9. アイデアスケッチ・サンプル作り</td> </tr> <tr> <td>2. アイデアスケッチ・サンプル作り</td> <td>10. プレゼンテーション・サンプル作り</td> </tr> <tr> <td>3. サンプル作り・マーケット作り</td> <td>11. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>4. プレゼンテーション</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作</td> <td>13. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作</td> <td>14. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>7. 後期第1課題作品提出、合評</td> <td>15. 後期第2課題「自由制作」作品提出、合評 作品展準備</td> </tr> <tr> <td>8. 第2課題「自由制作」導入</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 制作への取り組み方、提出作品、合評を重視して、総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに課題担当教員まで必ず連絡すること。制作研究は、出来る限り制作室で行うこと。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。</p>						1. 後期第1課題「10メートルの布」導入、資料収集	9. アイデアスケッチ・サンプル作り	2. アイデアスケッチ・サンプル作り	10. プレゼンテーション・サンプル作り	3. サンプル作り・マーケット作り	11. 作品制作	4. プレゼンテーション	12. 作品制作	5. 作品制作	13. 作品制作	6. 作品制作	14. 作品制作	7. 後期第1課題作品提出、合評	15. 後期第2課題「自由制作」作品提出、合評 作品展準備	8. 第2課題「自由制作」導入	
1. 後期第1課題「10メートルの布」導入、資料収集	9. アイデアスケッチ・サンプル作り																				
2. アイデアスケッチ・サンプル作り	10. プレゼンテーション・サンプル作り																				
3. サンプル作り・マーケット作り	11. 作品制作																				
4. プレゼンテーション	12. 作品制作																				
5. 作品制作	13. 作品制作																				
6. 作品制作	14. 作品制作																				
7. 後期第1課題作品提出、合評	15. 後期第2課題「自由制作」作品提出、合評 作品展準備																				
8. 第2課題「自由制作」導入																					

教科 No.	1K13	授業科目	染織3	単位数	週4日 6単位																
担当教員	ひろいのぶこ 三橋遵 ○藤井良子 ○金沢香恵			開講学期	前期																
履修条件			履修学年・専攻等	4年次																	
<p>【授業目標】 素材・イメージ・空間というキーワードを手がかりに、実験的な制作を試みながら、今日的な染織表現の可能性を探る。</p> <p>【授業概要】 テーマを各自が設定し、素材や技法の経験を重ねながら自己の作品制作へと結実させる。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 前期第1課題「自由制作」導入 アイデアスケッチ</td> <td>9. アイデアスケッチ・資料収集</td> </tr> <tr> <td>2. アイデアスケッチ・資料収集・プレゼンテーション①</td> <td>10. プレゼンテーション②</td> </tr> <tr> <td>3. サンプル作り</td> <td>11. サンプル作り</td> </tr> <tr> <td>4. 作品制作</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作</td> <td>13. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作</td> <td>14. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>7. 4回生前期展Ⅰ 第1課題「自由制作」作品提出、合評</td> <td>15. 4回生前期展Ⅱ 第2課題「自由制作」作品提出 合評</td> </tr> <tr> <td>8. 第2課題「自由制作」導入、アイデアスケッチ</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 制作への取り組み方、提出作品、合評を重視して、総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに課題担当教員まで必ず連絡すること。制作研究は、出来る限り制作室で行うこと。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。</p>						1. 前期第1課題「自由制作」導入 アイデアスケッチ	9. アイデアスケッチ・資料収集	2. アイデアスケッチ・資料収集・プレゼンテーション①	10. プレゼンテーション②	3. サンプル作り	11. サンプル作り	4. 作品制作	12. 作品制作	5. 作品制作	13. 作品制作	6. 作品制作	14. 作品制作	7. 4回生前期展Ⅰ 第1課題「自由制作」作品提出、合評	15. 4回生前期展Ⅱ 第2課題「自由制作」作品提出 合評	8. 第2課題「自由制作」導入、アイデアスケッチ	
1. 前期第1課題「自由制作」導入 アイデアスケッチ	9. アイデアスケッチ・資料収集																				
2. アイデアスケッチ・資料収集・プレゼンテーション①	10. プレゼンテーション②																				
3. サンプル作り	11. サンプル作り																				
4. 作品制作	12. 作品制作																				
5. 作品制作	13. 作品制作																				
6. 作品制作	14. 作品制作																				
7. 4回生前期展Ⅰ 第1課題「自由制作」作品提出、合評	15. 4回生前期展Ⅱ 第2課題「自由制作」作品提出 合評																				
8. 第2課題「自由制作」導入、アイデアスケッチ																					

教科 No.	1K14	授業科目	染織3	単位数	週4日 6単位																
担当教員	ひろいのぶこ 三橋遵 ○藤井良子 ○金沢香恵			開講学期	後期																
履修条件			履修学年・専攻等	4年次																	
<p>【授業目標】 素材・イメージ・空間というキーワードを手がかりに、実験的な制作を通して、今日的な染織表現の多様性を探る。</p> <p>【授業概要】 自由にテーマを設定し、素材や技法の経験を重ねながら自己の作品制作へと結実させる。第2課題は卒業制作とする。</p> <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 後期第1課題「自由制作④」導入、アイデアスケッチ</td> <td>9. アイデアスケッチ・資料収集</td> </tr> <tr> <td>2. アイデアスケッチ・サンプル作り</td> <td>10. サンプル作り・マケット作り</td> </tr> <tr> <td>3. 第1課題「自由制作④」プレゼンテーション④</td> <td>11. 作品制作、プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>4. 作品制作</td> <td>12. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>5. 作品制作</td> <td>13. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>6. 作品制作</td> <td>14. 作品制作</td> </tr> <tr> <td>7. 後期第1課題「自由制作④」作品提出、合評</td> <td>15. 後期第2課題「卒業制作」作品提出、合評 作品展準備</td> </tr> <tr> <td>8. 第2課題「卒業制作」導入 アイデアスケッチ</td> <td></td> </tr> </table> <p>【評価方法】 制作への取り組み方、提出作品、合評を重視して、総合的に評価する。</p> <p>【履修上の注意】 課題に必要な用具を持参すること。授業を欠席、遅刻、早退する場合は、理由とともに課題担当教員まで必ず連絡すること。制作研究は、出来る限り制作室で行うこと。</p> <p>【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。</p>						1. 後期第1課題「自由制作④」導入、アイデアスケッチ	9. アイデアスケッチ・資料収集	2. アイデアスケッチ・サンプル作り	10. サンプル作り・マケット作り	3. 第1課題「自由制作④」プレゼンテーション④	11. 作品制作、プレゼンテーション	4. 作品制作	12. 作品制作	5. 作品制作	13. 作品制作	6. 作品制作	14. 作品制作	7. 後期第1課題「自由制作④」作品提出、合評	15. 後期第2課題「卒業制作」作品提出、合評 作品展準備	8. 第2課題「卒業制作」導入 アイデアスケッチ	
1. 後期第1課題「自由制作④」導入、アイデアスケッチ	9. アイデアスケッチ・資料収集																				
2. アイデアスケッチ・サンプル作り	10. サンプル作り・マケット作り																				
3. 第1課題「自由制作④」プレゼンテーション④	11. 作品制作、プレゼンテーション																				
4. 作品制作	12. 作品制作																				
5. 作品制作	13. 作品制作																				
6. 作品制作	14. 作品制作																				
7. 後期第1課題「自由制作④」作品提出、合評	15. 後期第2課題「卒業制作」作品提出、合評 作品展準備																				
8. 第2課題「卒業制作」導入 アイデアスケッチ																					